



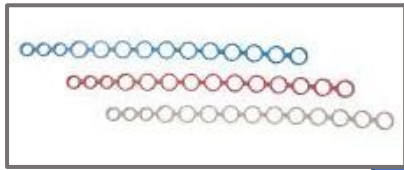
# 特別支援教育通信

## ～お助け支援グッズ特集～

令和8年5月26日  
清瀬市立清瀬小学校  
校長 谷口 雄麿  
特別支援教育委員会  
No.2

今回は、お子様の学習について「〇〇が難しい、できない」というお悩みを改善する「支援グッズ」を紹介します。どれも、一般的に販売しているものです。

### お悩みその1：落ち着いて座ることや姿勢の保持が難しい



#### 「ふみおくん」

子供が求める感覚刺激を与えることで、  
落ち着かせたり集中させたりする  
効果が期待できます。



### お悩みその2：集中が続かない・ 時間内に終わらせることが難しい



#### 「タイムタイマー」

残り時間を可視化することによって、  
見通しがもちやすくなります。

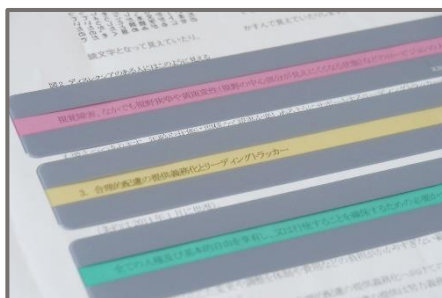
### お悩みその3：上履きのかかとを踏んでしまう



#### 「かかとは踏めない上履き」

踵に突起があったり、踵部分が固くなったり  
している上履きが販売されています。

### お悩みその3：文章をスムーズに読むことが難しい (読み飛ばしや戻り読みがある)



#### 「リーディングトラッカー」

読む行以外を隠すことで、視点を集中させ、読みやすくなります。  
スリット(窓)色付きにすることで、文字の眩しさを抑える効果  
があります。

定規と一体化されたものも販売されています。

## お悩みその4：「かくこと」の困難

### 【線・図形を描くこと】



「滑りにくい定規」

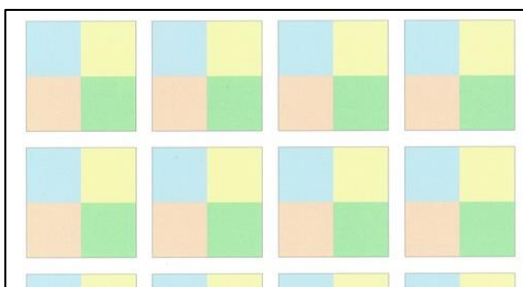
裏面に滑りにくい素材を使った定規や三角定規・分度器があります。



「円が描きやすいコンパス」

「つまんで回す」ことなく円が描けます。

### 【文字を書くこと】



「カラーマス目」

部屋ごとに色を変えることによって、文字の形や書き方が捉えやすくなります。

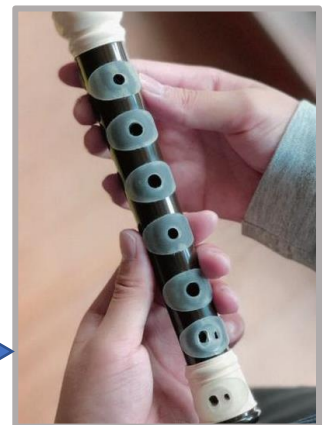
## お悩みその5：リコーダー演奏が苦手



リコーダーの穴を指で抑えることが難しい子のために、

リコーダーの穴に、シリコンキーがついているもの

リコーダーに貼るだけで、穴が押さえやすくなる補助シール



## 支援グッズを使うこと・支援を受けることについて

保護者の方の中には「できれば支援グッズを使わないで、できるようになってほしい」と思われる方もいらっしゃると思います。

でも、支援グッズを使うこと（支援を受けること）は、視力が良くない人が眼鏡をかけることと同じです。特別支援教育でも、「できないことを、できるようにする」ことよりも、「こうすればできる」と、児童が「できる」ことを増やすことを大切にしています。

ご家庭での学習でも保護者の方が、「できたね!」とお子様と言えらる機会が増えることを願い、支援グッズの紹介をさせていただきました。参考にさせていただけると嬉しいです。